



RS SILVER MAT Si

RS シルバーマット Si

水性艶消しシリコン樹脂塗料

RS SILVER MAT Si

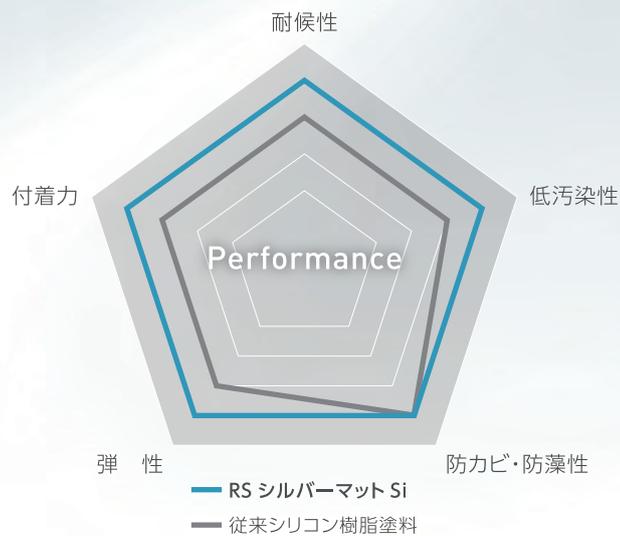
「マイクロパウダー技法」により

シルクのようなしっとりした艶消しで

シックな仕上りに。

耐久性にも優れ、塗膜の劣化を抑制し

建物の美観を維持します。



やさしい質感

「マイクロパウダー技法」を用いた艶消し技術により、
おだやかな艶消し感を呈します。

高耐久性

弾性系塗材にも塗装可能で
経年での耐ワレ性に優れた耐久性を有します。

超低汚染性

「特殊防汚成分」による超低汚染性は
美観を長期にわたり維持します。

高耐候性

優れた高耐候性で
過酷な自然環境から建物を護ります。

ラジカル制御技術採用

関西ペイントテクノロジーを駆使した、
塗膜劣化の原因物質である「ラジカル」の発生を抑える
4つの塗膜コントロール技術で、塗料の耐久性を飛躍的に向上させます。

防カビ・防藻性

建物の美観を損ねるカビや藻の発生を抑制します。

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

なめらかな仕上り

マイクロパ

やさしい質感

「マイクロパウダー技法」で塗料成分を細粒子化し、シルクのような、なめらかな艶消しの仕上りを実現します。

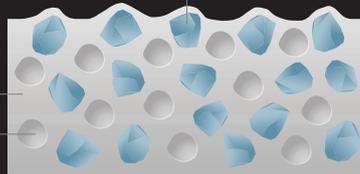
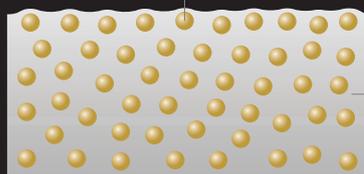
艶消しイメージの比較

RS シルバーマット Si

従来水性艶消し塗料

マイクロパウダー

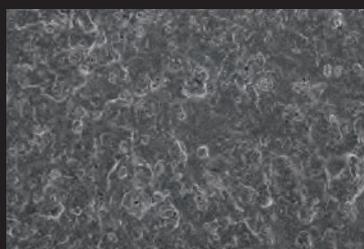
艶消し顔料



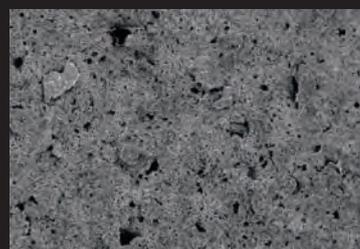
樹脂
空隙

RSシルバーマットSiには空隙がありません

従来水性艶消し塗料には空隙があります



緻密な表面状態を形成します



表面に巣穴が多く見られます



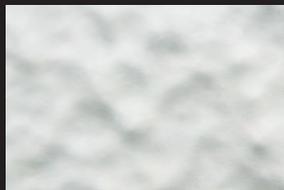
が上品さを演出

ウダー技法

高耐久性

「マイクロパウダー技法」で塗料成分を細粒子化し、
艶消しにすることにより、経年劣化における塗膜のワレを軽減します。

経年劣化の比較



RS シルバーマツト Si

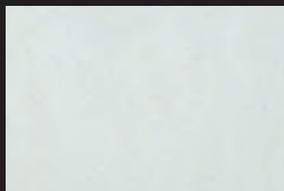


従来水性塗料

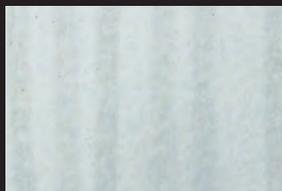
超低汚染性

「特殊親水性粒子」の効果による超低汚染性で雨筋汚れを抑制します。

雨筋汚れの比較



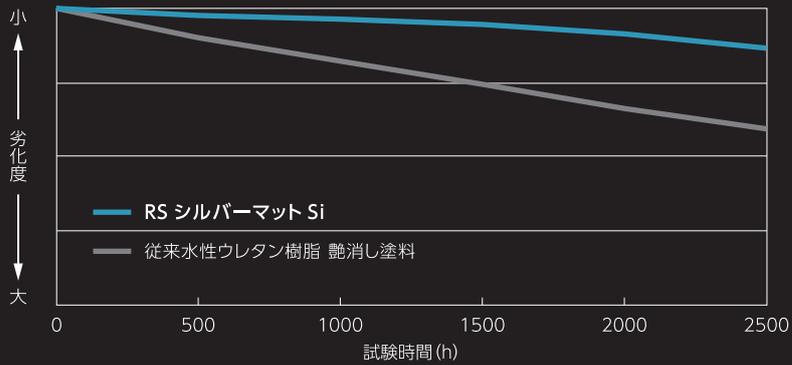
RS シルバーマツト Si



従来水性塗料

高耐候性

高耐候な塗膜が建物の資産価値を護ります。



※劣化度は変褪色の度合い(色差ΔE)を示したものです。

ラジカル制御技術

「ラジカル」とは、塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当ることにより発生する物質で、塗膜を破壊し劣化を促進させます。この「ラジカル」の発生を4つの塗膜コントロール技術で根本的に抑え、外壁を長期にわたり保護します。

| | |
|---|---|
| <p>高性能シリコンレジン</p> <p>超強力な結合エネルギーを持つ 国産「高性能シリコンレジン」で紫外線劣化を阻止</p> | <p>UVトラップ</p> <p>「高性能シリコンレジン」をすり抜けた紫外線を 「UVトラップ」で無害化</p> |
| <p>シリコンレジン</p> | <p>UVトラップ</p> |
| <p>ラジカルバリヤコート</p> <p>酸化チタンへの紫外線到達を阻止し ラジカル発生を抑制</p> | <p>HALSラジカルキャッチャー</p> <p>極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは 「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し無害化</p> |
| <p>ラジカルバリヤコート</p> <p>ラジカル</p> <p>酸化チタン</p> | <p>HALSラジカルキャッチャー</p> <p>ラジカル</p> |

防カビ・防藻性

防カビ・防藻性に優れています。

防カビ性

| | |
|----------------------|---------------|
| <p>RS シルバーマット Si</p> | <p>従来水性塗料</p> |
|----------------------|---------------|

<試験方法> カビ類または藻類を培養させた寒天の上に塗膜を置き、一定期間後の状況を観察します。
中央の四角(塗膜)にカビまたは藻の繁殖が認められなければ、防カビ・防藻機能を有していると言えます。

標準色 艶消し

RS-111



RS-110



RS-112



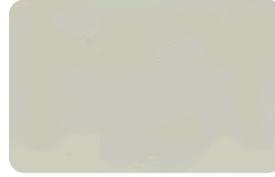
RS-223



RS-310



RS-121



RS-133



RS-221



RS-120



RS-127



RS-131



RS-80



RS-337



RS-336



RS-141



RS-247



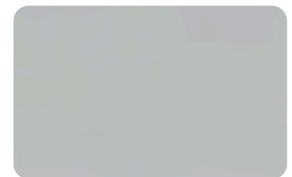
RS-330



RS-147



RS-350



RS-75



RS-347



RS-150



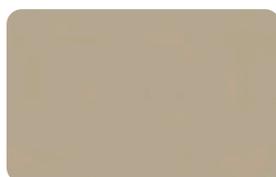
RS-352



RS-70



RS-356



RS-357



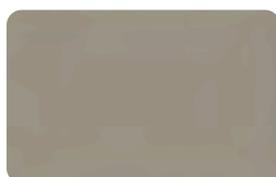
RS-368 ◎



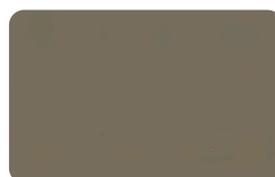
RS-50



RS-367



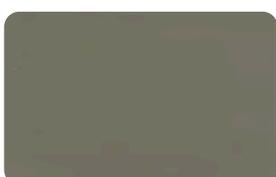
RS-167



RS-376



RS-379 ◎



RS-170



塗装していますので実際の仕上りと多少異なります。
 塗料工業会色見本帳などでの調色も可能です。
 になります。
 は2026年11月です。

下塗塗料 各種下塗塗料をラインナップしています。

RSサーフ 水性

ダブルマイクロ技法により、キメ細かい滑らかな肌を実現します。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSプライマー 水性 2液

水性で臭気も少なく、幅広い旧塗膜・基材へオールマイティーに対応します。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

RSフィルア 水性

これまでに培った技術力を結集した長期耐久性弾性下地調整材。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル

RSマルチシーラー 溶剤 2液

紫外線をブロックしあらゆる素材へ優れた付着性を発揮。光触媒サイディングなどに最適下塗材です。

【主な適用素材】 コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボード

【主な素材適正】 珪素塗装面・光触媒塗装面・無機塗装面

汚れについて

- カビ、藻、シーリング材のにじみ、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同等のレベルです。
- 塗装後3日～1週間から落ちはじめ、その間に付着した汚れも徐々に除去されます。但し建物の構造上、本来の低汚染性能が十分に発現しない場合があります。雨掛かりの少ない被塗面や、

施工上の注意事項

●塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛った場合や、低温、高湿度、通風の無い環境では、膨れ、はく離、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。●絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。●可塑剤が多く含まれる部材(塩ビ鋼板、ゴムパッキン、ラミネート、合成皮革、プラスチック、シーリング材など)への塗装は避けてください。粘着や軟化が生ずるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。●蓄熱されやすい素材(軽量モルタル、ALC、高断熱型窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を用いた「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシンや弾性スタッコ、アクリルトップ等の場合、そのまま塗装すると環境条件によっては水や温度の影響で塗膜が膨れたり、剥離が生じることがありますので、旧塗膜は完全に除去してください。●家具類(テーブル、カウンター、棚)、床、遊具類(ベンチやジャンプジムなど)などへの塗装は避けてください。●濃彩色仕上げの際、雑巾ウエス等で強くすると、色落ちや艶変化が起こる場合がありますので、衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。●気温5℃以下(低温)、湿度85%以上(高湿)での施工は避けてください。●屋外において降雨、降雪、強風の恐れがある場合は塗装を避けてください。●塗装間隔は環境(温度、湿度、換気回数等)や膜厚によって変わります。●所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などにより増減することがあります。●結露が発生する場所では、塗料中の微量の水溶性分が表面に溶出し粘着物となって析出することがあります。粘着物は水拭きや水洗で除去してください。●塗膜に降雨や結露の影響を受けた場合は、白化や艶引けなどの異状が生じやすくなります。山間部や河川近くなどの夜露の早くおきる多湿地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。●塗装仕様書に記載の数値は標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅を生じることがあります。●塗膜性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗付量確保による施工を行ってください。●吸い込みの著しい下地では、「RSマルチシーラー」を推奨します。●吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗付量が多く乾燥が遅くなりますので塗装間隔を長めにとってください。また、上塗までの塗装間隔が規定よりも短い場合、縮み、割れ、乾燥不良を起こすおそれがありますので注意してください。●被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なる見える場合があります。また塗膜が箇所でも艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。●本品を塗装の際は、中途や上塗に塗り残しや透けがないようご注意ください。塗り残しや透けがある場合、紫外線の透過によりシーラー塗膜が紫外線劣化を起こし層間で剥離が生じるおそれがあります。●吸い込みのほげしい被塗物などの塗り替え時はシーラーを塗装後にガムテープで基材との密着性を確認し、ハガレが生ずる部分は塗膜を剥離し、その部分に再度シーラーを塗付してください。●鮮やかな赤系、黄系、青系、緑系の色で仕上げられる場合は、隠ぺい性の良い色で予め下塗してから塗装を行ってください。●ドアや手摺など人の手が頻繁に触れる所では、手垢汚れ、皮脂、クリーナー、整髪料等の影響で塗膜が軟化し、繰り返しにより塗膜が剥がれる事があります。このような部位には溶剤系2液ウレタン塗料をお勧めします。●無機系樹脂、光触媒処理、珪素樹脂、シリコン樹脂など特殊な樹脂で処理された窯業系サイディングボード面に塗装する場合は、下塗材としてRSマルチシーラーをご使用ください。なお、事前に試し塗りで付着性を確認してください。付着性に問題がある場合は、目直しを行ってください。●新設建材が押出成形セメント板やGRC板の場合には、下塗りを「RSマルチシーラー」をご使用ください。●シーリング打設幅が広く、構造体大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので避けてください。●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、伸縮割れ、粘着などの不具合を発生することがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、本製品に対して塗装適合性のあるノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全に硬化した後に行ってください。また、「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」[シーブラ]「RSプライマー」を下塗りとすることで、可塑剤移行による汚染、粘着の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などにより剥離、伸縮割れが起こることがあります。●シーリング面は、塗膜が汚染・はく離・収縮割れを起こすことがあるため、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング材を打ち替える場合は、後打ちとし、可塑剤(油分)を含まないノンブリードシーリング材をご使用

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】●取り扱いは作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で行い、じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。●吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。●皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・手袋を着用すること。●本来の目的以外に使用しないこと。●指定材料以外のものと混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。●瓶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。●取り扱いは、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻洗浄を十分行うこと。●使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。●本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。【対応】●目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。●皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。●吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必

汚れが大量に流れ落ちる被塗面では、十分な汚れ防止効果が得られないこともありますのでご了承お願い致します。●足場解体時など、部分補修する際には、汚染ムラの発生原因となりますので、硬化剤の入れ忘れ、不足などに十分注意してください。

ください。●艶消し品を仕上げる際は、塗り継ぎ部をつくらぬよう注意し、面を切って、通し塗りを行ってください。●艶消し品は、膜厚、温度、塗色、塗り回数、塗装方法、希釈率などにより艶の発現性が変化します。特に剛毛ローラー塗装時の塗膜きずでは厚膜となり、その部位の艶が高くなり、艶ムラを生じやすい傾向があります。試験施工で仕上りを確認の上、本施工を行ってください。●艶消し品は、高温などの乾燥が早い環境下では艶ムラが生じやすくなります。特に被塗面が直射日光で熱せられ高温になると塗膜の形成肌の凹凸が増え、さらに塗膜厚が不均一になりやすくなるため艶ムラが生じやすくなります。●艶消し品は、使用中において塗料に含まれる艶消し剤が沈降しやすい場合がありますので、適宜攪拌しながらご使用ください。●補修塗り用として使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。●補修塗りの際は、塗装方法や凹凸肌のちがいが等により、仕上がり性に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に試し塗りをした上で希釈量等を決定してください。●ローラー塗装では同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。●剛毛塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、仕上り肌や色相に多少差が生じます。●水性塗料を塗装する場合はナイロン剛毛を使用してください。駄毛剛毛は固まったりダマになりやすいので使用しないでください。●被塗面の洗浄に薬剤を用いた場合、水洗を入念に行ってください。被塗面に薬剤が残存したまま塗装すると、塗替え後の塗膜に膨れ、割れ、白化等の異常をきたす場合があります。水洗後にpH試験紙を用いて被塗面が中性になっていることを必ず確認してください。●塗り替え塗装の前に、必ず高圧水洗やブラシを用いて、被塗面の付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。下地調整が不十分な場合には塗膜剥離の原因となり、光沢不足や色ムラが発生するなど異常を生じるおそれがあります。●改修時の既存塗膜の剥離箇所は、予め既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。●改修時、漏水がみられる場合は、予め要因となっている箇所への防水処理を行ってください。●新設コンクリート面に塗装する場合、pH10以下、表面含水率10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、又は表面含水率5%以下(ケット科学社製H500シリーズ:コンクリートT型で測定した場合)まで十分乾燥させてください。●水洗直後は下地表面の含水率が高くなりますので、十分に乾燥(含水率10%以下:ケット科学社製CH-2型で測定した場合)させた後に塗装してください。●被塗物にカビや藻が繁殖している場合は、下地処理としてカビ・藻の除去および殺菌処理後、十分水洗し、乾燥してから塗装してください。●塗装前の部位にワックスやクリーナーなどが残存している場合には、ハジキや付着不良の原因となりますので、十分に除去してから塗装してください。●タイル洗浄薬剤が塗装面に付着した場合、塗装面の変色や早期劣化を生じることがありますので塗膜面の養生を行ってください。●防カビ防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、これらの効果が十分に発揮されない場合があります。●構造や部位、環境条件により低汚染性が発揮されない場合があります。(傾斜壁の下部、笠木がない壁、汚れが溜まりやすい窓周り、横目地下部、降雨がかからない面や、シーリング材からの汚染物質の影響など)●塗料の希釈率は試験塗装などにより決定し、それ以降は同じ希釈率で塗装してください。●規定範囲を超えて希釈すると、ハジキ・光沢低下・色味変化・ダレ・隠蔽力不足など仕上りに異常をきたすおそれがありますので、所定の希釈率を遵守してください。また当該現場で一度定めた希釈率はなるべく同一にしてください。●使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は保管期間が長いと容器内で顔料の分離が生じていることがありますので十分攪拌の上でご使用ください。●塗装用具などは、塗料が乾燥しないので固まらないうちに洗浄してください。水で落ちにくい場合、水性デットセーフティ洗浄剤やラッカーシンナーを用いて洗浄してください。(砂骨ローラーはシンナーで洗浄すると膨潤しますので、ご注意ください)●開栓後の塗料はできるだけ早く使い切ってください。また使用した塗料を元の塗料容器に戻さないでください。●現場での材料は、容器が密栓されていることを確認し、直射日光や凍結を避けた屋内の冷暗所に保管してください。●塗料が付着した布ウエス、紙、ローラーは引火、発火を防止するため水に浸漬するなどして安全対策を行ってください。●塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁してください。●製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

要に応じて医師の診察を受けること。●飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。●漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。●火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。【保管】●指定容器を使用し、完全にふたをして、湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨・ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。【廃棄】●本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと)【施工後の安全】●本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。●例えは、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ立ち立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

リフォームサミット



リフォームサミット
紹介動画はこちら

Supported by KANSAI PAINT

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

(23年11月02日PNA) カタログNo.782